

金沢大学法学類月報

第 25 号 2015 年 12 月 25 日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



歳末も押し迫ってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。法学類月報第 25 号では、岡田浩先生のご紹介、公認サークル「模擬国連北陸支部」が主催した模擬国連北陸大会のレポート、裁判官による特別講演会のもようをお届けします。皆様、来年も金沢大学法学類をどうぞよろしく願いいたします。



◆連載◆ 法学類の先生 第 22 回 岡田浩先生（政治学、計量分析）

私は、選挙など、政策が形成されるプロセスに民意を反映させる仕組みについての研究をしています。

政治の研究を志したのは大学在学中でした。私が大学に入学した当時は政治腐敗事件の頻発や消費税導入問題などで日本政治が揺れ、やがては自民党下野に至る激動期でしたが、民意が政治に十分に反映されていないのではないかという思いから大学で弁論部に入って、弁論大会に出たり、政治家の方を招いた講演会を企画するなどしていました。それらの活動の中で、民意が反映されないのは、選挙のあり方や民意の受け皿としての政党のあり方に問題があるのではないかと考えるに至り、問題の原因や解決策を学問的に究明してみたいと思って政治学の研究を志し、現在に至っています。

最近では、学生時代の私のように政治に問題を感じている人が少ないのか、若い人の投票率が下がり続けています。しかし、現在は問題が無くとも、歴史をみると、政治がとんでもない方向に行ってしまうたり、参政権が後退してしまった例が少なくありません。また、最近では「地方創生」ということがいわれますが、社会や地域を元気にするためにも、若い人がもっと社会や地域のことに興味を持って、政治や選挙に参加していくことが大切だと思います。

最近では、若い人に選挙に関心をもってもらう活動にゼミ生とともに取り組んでいて、様々な学校に伺って選挙に関する出前授業をしたり、啓発動画を作ったりしています。関心のある方はいっしょに活動しませんか？



模擬国連北陸支部 「第 21 回模擬国連会議北陸大会」を開催

11 月 21 日、22 日に模擬国連会議北陸大会(HMUNC)が開催されました。参加者が一国の大使に扮し、国際問題について議論を行う模擬国連は、全国に研究会・支部があり、金沢大学を拠点とする北陸支部が毎年開催している北陸大会は 4 大会のひとつに数え

られています。総勢 73 名が参加した今回の大会は、テーマとして「FACE TO FACE」を掲げ、「児童労働」と「同性婚」を議題とする 2 つの会議を開催しました。

児童労働の会議では、児童の健全な発達を妨げる原因となる児童労働の撤廃を目指して議論がされました。具体的には、撤廃のための方策及び児童労働の定義について各国間で活発な交渉がなされ、先進国と途上国の間での意見の隔たりが明らかになる一方で、交渉により妥結がみられた点もありました。

近年国際世論が高まりを見せている同性婚をテーマとした会議では、事前の会議設定として、同性「愛」という概念についての話し合いではなく、同性婚を認めるという終着点を例示したうえで、大使の技量次第で議論の方向性を定められるよう提示していました。しかし実際、当日の会議では、国によっては法律で同性婚を禁じていることもあり、同性婚の前提となる同性愛に関する議論が活発になされました。結果、同性婚が各国の国内管轄事項であるという主張が組み込まれた決議が、わずかに賛成過半数を上回り採択されました。

どちらの会議も各国大使が真摯にかつ積極的に交渉に臨んでいる姿があり、その一方で、国際問題特有の国益の衝突も見られ、充実した会議となりました。

日本模擬国連関西事務局北陸支部 2015 年支部長 法学類 3 年 美濃口裕



Current News

最近の出来事から

裁判官による特別講演会を開催

法学類では、専任教員による通常の授業の枠を超えた知見を提供することにより、学生の見聞を広めることを目的として、学外から講師をお招きして、特別講演会を随時開催しています。さる 11 月 16 日、金沢家庭裁判所の加藤靖裁判官をお招きして、「民事・家事の紛争解決における法、裁判所の役割」というテーマでご講演を頂きました。今回は、1 年生を対象として開講している「民法入門」の授業時間内での開催としたため、聴講者の多くが法学類 1 年生であることを念頭に、法（ルール）を強制する「システム」として裁判を位置づけた上で、民事裁判のしくみ、紛争の解決に必要なスキル、法解釈とその理由づけの重要性などについて、豊富な具体例を用いて分かりやすくご説明頂きました。学生からは、法あるいは裁判所に対する興味・関心が強まった、という感想が多数寄せられました。

なお、今回の講演会の機会に、学生の進路選択の一助とするため、裁判官以外の裁判所職員（裁判所書記官、裁判所事務官、家庭裁判所調査官）の様々な業務について、金沢地方裁判所事務局総務課人事第 1 係長の住川佑見氏からも、お話をいただきました。

法学類広報委員会



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
 - 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
 - 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>
- また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。